

---

# やってみよう！ ブックトーク

～子どもを本の世界に誘うために～

---

令和3年3月

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課

## 目次

---

ブックトークとは	1
ブックトークの準備	
日ごろから準備しておくこと	1
核となる本を決め、テーマを考える	1
本を選ぶ	2
全体の構成・つなぎを考える	3
テーマが決まっている場合は	4
わかりやすい紹介にするために	4
原稿を作る	4
実践の前に	5
実践にあたって	6
ブックトーク原稿集	
原稿①「世界のくに」（対象：小学校3年生）	8
原稿②「たからもの」（対象：小学校4年生）	13
原稿③「うそ？ウソ！大研究」（対象：小学校5年生）	19
原稿④「ことばで伝える」（対象：中学校2年生）	23

## ブックトークとは

ブックトークとは、1つのテーマに沿って、いろんな本を幅広く紹介する手法のことです。

「読み聞かせ」のように最初から最後まで全部読むのではなくて、本のあらすじを紹介したり、本文を一部分読んだりして、聞き手に「おもしろそう」「この続きはどうなるんだろう」「読んでみたいなあ」という気持ちになってもらうことで、実際に本を手にとって読んでもらうことにつながります。

また、同じテーマでもこんなに幅広いジャンルの本がある、と読書の幅広さを知ってもらうことや、「読んでみたいなあ」という読書の潜在欲求の掘り起こしにつながります。

※ブックトークがどんなものかを見てみたい方は、滋賀県学習情報システム「におねっと」(<https://www.nionet.jp>)で県内公立図書館の司書が実演している動画を見ることができますので、ご覧ください。

## ブックトークの準備

ブックトークを成功させるためには、事前にしっかりと準備しておくことが大切です。

### 1 日ごろから準備しておくこと

一番大事なことは、たくさん本を知っておくことです。

そのためにも日頃から本をたくさん読み、子どもたちにおすすめしたい本、何かのブックトークに使えるかもしれないと思うような本に出会ったら、どんなテーマで紹介できるかも考えながら、ノートに書き留めるなどしておくとういでしょう。

### 2 核となる本を決め、テーマを考える

まず、「この本を紹介したい」という、ブックトークの“核”になる本を決めます。

核となる本と、今まで蓄積している本の中から何か共通するテーマを見つけ、それをテーマに設定します。

テーマの設定はとても重要です。

これからどんな本が紹介されていくのかと、子ども達の興味をかきたてられるようなテーマと本の構成になるようにしましょう。



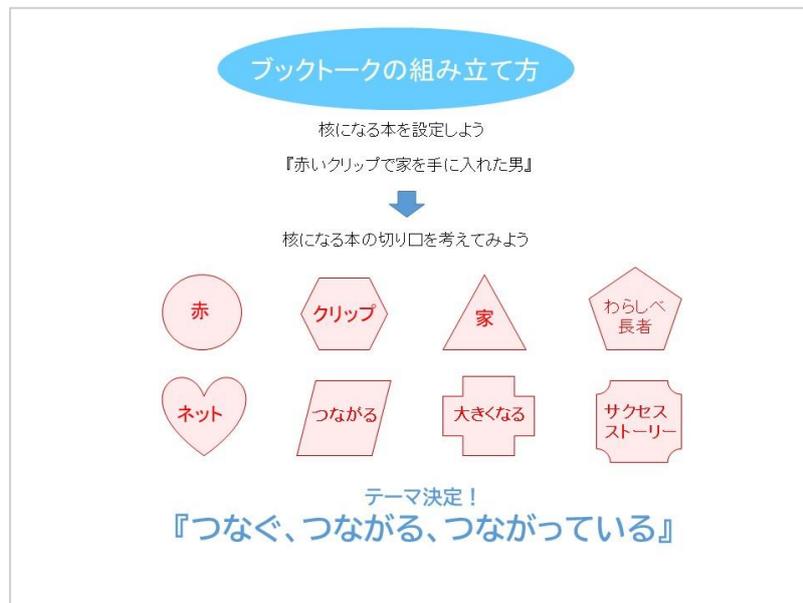


図 ブックトークの組み立て方（例）

### 3 本を選ぶ

テーマに関連する本を、実際に紹介する本より多めに選んでおきます。  
 その中から絞り込み、紹介する本を決めていきます。  
 本を選ぶ際には次のようなことに注意しましょう。

#### (1) 幅広いジャンルから本を選びましょう

おはなしの本が好きな子もいれば、図鑑が好きな子もいます。

おはなしの本ばかり紹介したり、図鑑ばかり紹介したりするのではなく、おはなしの本や図鑑、詩の本や絵本など幅広いジャンルからテーマに合った本を選んで紹介しましょう。

子ども達に人気の本も入れておくと、読書経験の少ない子ども達も身近に感じて、楽しんでもらえます。

子ども達の顔を思い浮かべながら、紹介した本の中からどれか一冊は「読んでみたいなあ」と子ども達全員が思えるように本を選びましょう。

#### (2) 本との出会いを広げるために

実際に読んでみるとおもしろい本でも、装丁が地味だったり、書架に埋もれてしまっている本はありませんか。

普段手に取ってもらえないような本も、ブックトークで紹介すると読んでみたくなり、子ども達の読書の幅も自然と広がります。

#### (3) 対象年齢を考慮して絞り込んでいきましょう

子ども達の興味をかきたてるテーマになるように考えながら、幅広いジャンルの本の中から、対象年齢も考えて本を絞り込んでいきましょう。

子どもと本の橋渡しをするために、本のこと、子ども達のことを「知る」ことがとても大切です。

#### (4) ジャンルやテーマの切り口に悩んだ時は

一人で本を選んでいるといつも同じようなものになってしまうという場合には、〈周りの人にテーマに合ったおすすめの本を聞く〉、〈図書館のブックリストを参考にする〉、〈司書に相談する〉などしてみると、自分の考えていたものとは違ったジャンルや切り口を発見できるかもしれません。

また、一つのテーマに対して、様々なとらえ方をしています。

いくら紹介する本がよくても、例えばタイトルにテーマが含まれるものばかり、などでは意外性がなく、一本調子のブックトークになってしまいます。

※本ガイドブックの末尾に、県内公共図書館司書が実演したブックトークの原稿を掲載しています。それぞれ、テーマに沿った図鑑や絵本、おはなしの本など、幅広いジャンルから選んでいることがわかります。

## 4 全体の構成・つながりを考える

紹介する本が決まったら、ブックトークの流れを考えながら本と本のとつなぎを考えていきます。

テーマを見失わないように、テーマと一冊一冊の本がつながるように、次の本へも「次に紹介するのは・・・」とするのではなく、テーマでつなげていきます。

※ガイドブック末尾の原稿集も参考にしてください。

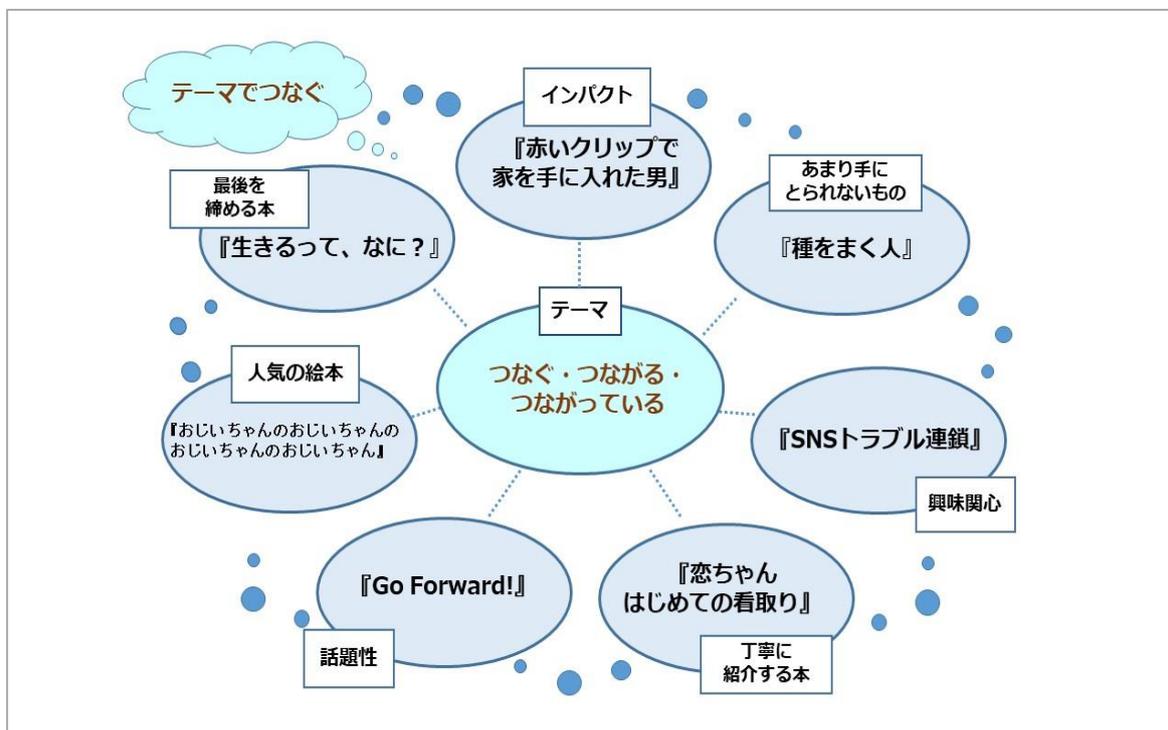


図 テーマと紹介する本の関連 (例)

## 5 テーマが決まっている場合は

あらかじめ、「このテーマ(本)でブックトークをしてほしい」という依頼があった場合も、「ぜひ紹介したい」という核になる本を決めてください。

この場合、紹介する本がテーマの説明になってしまわないように気をつけましょう。

例えば「環境」というテーマで依頼があった場合は、環境について調べる本ばかり集めるのではなく、絵本やおはなしの本も加えながら様々なジャンルの本を紹介するようにしましょう。

環境の授業で使う環境の本を集めて子ども達に紹介したい場合は、「ブックトーク」より「本の紹介」の方がよい場合があります。子ども達にとってどのような方法がよいのか、はじめの「ブックトーク」の定義をしっかりと確認しておきましょう。

## 6 わかりやすい紹介にするために

あらすじや内容を紹介するだけではなく、本に載っているさし絵や写真を見せたり、紹介する本の雰囲気わかる部分や興味をひくような場面を実際に読んで紹介すると、どんな本なのかわかりやすくなります。

また、紹介したい部分には付箋をはっておいて、すぐにその頁を開けられるようにしておきましょう。

※他にも、ブックトークをする際に気を付けておきたいことがいくつかあります。

それについては、「実践にあたって」の項（ガイドブック p. 6）もご参照ください。



## 7 原稿を作る

ブックトークをする時には、必ず原稿を作って記録しておきます。

原稿を作っておくと、実践する時に見直したり、本を何冊か入れ替えて対象の学年を変えるなど、ブックトークを練り直す時に大変役立ちます。

苦労して作ったブックトークでも、月日とともに忘れてしまうこともあります。きちんと原稿を作って残しておきましょう。

原稿を作る時は、現場を想定して、しゃべり言葉で書き、(問いかけ、反応を見る)、(pp.5-6、1行目まで読む)など細かいト書きを入れます。

本番は原稿を覚え、原稿を見ないでブックトークをします。一言一句間違えないように丸

暗記する、という意味ではありませんが、だいたいこんな感じで、というのもよくありません。繰り返し練習することで、子ども達を前にしたときに、完成度の高いブックトークをするために、余裕をもって臨むことができます。

※ガイドブック p.8 からの原稿集を参考にしてください。

## 8 実践の前に

本番前には、必ずリハーサルをしておきましょう。原稿を覚えるだけではなく、本の持ち方や置き方なども確認しておくことが大事です。時間を測り、予定の時間内に納まるかどうか確認しておきましょう。また、繰り返し練習することで、本番で思いがけないことがあっても余裕を持って対応することができます。

次の、ブックトークの評価のポイントがきちんとできているか、できれば誰か他の人に見てもらって感想や意見を聞いておくとよいでしょう。自分では気が付かないことを教えてもらったり、違う見方を知ることができたりします。

### 評価のポイント

- ①ブックトークで本への興味がかきたてられたか
- ②テーマの選び方は適切か
- ③本の選び方とその本に関するものにバラエティがあったか
- ④プレゼンテーションとして完成しているか

また、ブックトークを聞いた子ども達の「読んでみたいなあ」の気持ちに応えるために、紹介した本を借りられるようにしておいたり、学校図書館で用意してもらったりしておくといよいでしょう。

子ども達に紹介した書名や著者名、出版社名などを書いたブックトークのプログラムを配れるように準備しておきましょう。

## 実践にあたって

ブックトークを実践する際には、次のようなことに気をつけましょう。

### ○ブックトークのはじめには

いきなり本の紹介から入るのではなく、問いかけを中心に、ブックトークについて簡単に説明するとよいでしょう。

例：「みなさん、ブックトークって聞いたことはありますか？（問いかけて反応を見る）ブックトークというのは、簡単にいうと、一つのテーマに沿っていろいろな本を紹介することです。・・・」

また、最初に紹介する本を、子どもの興味をかきたてるものや、インパクトのあるものにする子ども達をひきつけることができます。

### ○本を紹介する時は

#### （１）本をしっかり見せましょう

書名は、しっかりと言いましょ。その時には、表紙もきちんと見せましょ。紹介している間はその本を手を持ち、紹介し終わった本は表紙を見せて、立てて並べていましょ。

紹介するページには付箋を貼っておき、そのページがすぐに開けられるようにしておきましょ。

#### （２）どこまで紹介するかを考えましょ

特におはなしの本の場合、一番よいところや結末を話してしまつては、子ども達が読んだ気になってしまい、自分では読まなくなるかもしれません。「読んでみたいなあ」と子ども達に思ってもらえるように、どこまで紹介をするのが重要になります。

#### （３）本に合わせて紹介の方法を変えましょ

本に合わせて紹介方法を変えると、よりその本の良さが伝わります。絵や写真を紹介したり、クイズを出したりすることで、本のイメージが湧きやすくなつたり、興味をもってもらきかけにできる本もあるでしょう。また、全ての本を同じボリュームで紹介するのではなく、力を入れて紹介する本やさらっと触れる本など、メリハリをつけるとよいでしょう。

おはなしの本の場合は、あらずじだけでなく、本文やせりふの部分を紹介すると本の雰囲気伝わりやすくなります。その時は、自分で話すところなのか、本の文章の紹介なのか、聞いている子ども達が混乱しないように、きちんと区別しましょ。

例：「・・・心配になってきたその時、不思議なお店を見つけたんです。その部分を少し読んでみますね。（実際に読む）・・・」

## ○プログラムを配布する

紹介した本の書名や著者名、出版社名などを書いたプログラムは、どんな本が紹介されたかの記録と、子ども達が後で読みたくなった時のために配ります。ブックトークに集中してもらうために、プログラムを配るのはブックトークが終わってからにしましょう。

## |ブックトークをやってみませんか

---

ブックトークをするためには、準備がいろいろと必要ですし、実践にあたって気をつけることもたくさんあります。「大変」、「難しそう」と思われた方もいるかもしれません。

でも、ブックトークをした後、子ども達が目を輝かせながら紹介した本の前に集まって、本を手にとって気になる続きを確かめたり、クラスの子と一緒にページをめくったり、借りてくれる姿をみると、とても嬉しい気持ちになります。

子ども達を本の世界に誘う重要なアプローチの一つとして、自分達も楽しむ心をもって、ブックトークをやってみませんか。

※この内容は 草津市立図書館 二井治美氏「やってみよう！ブックトーク」（「こどもの図書館」51(10) 児童図書研究会、2004年 pp.2-6）をもとに作成しています。

## ブックトーク原稿集

※このブックトーク原稿は、原稿の書き方や全体の構成の参考にしていただくために掲載したものです。この原稿を使用されたい場合は、発行者（滋賀県教育委員会事務局生涯学習課）までご連絡ください。※所属は、令和2年（2020年）3月時点のものです。

### 原稿①「世界のくに」（甲賀市甲南図書交流館 吉田典史）

対象：小学校3年生 所要時間：約40分

ブックトークとは、いろいろなテーマに沿って本を紹介することです。おはなし会とは違い、途中までしか読まなかったり、内容だけを紹介するだけの本もあります。終わってから、「続きが気になるな、あの本が読みたいな」と思う本が一冊でもあればうれしいです。最近国語の授業で『三年とうげ』という昔話をならったと聴きました。このお話は、韓国という国のお話です。そこで、今回は「世界のくに」というテーマで本を紹介していきたいと思います。

さて、世界には、砂漠があったりジャングルがあったり。いろんな国があります。

（世界地図を黒板に貼る・紹介した国に国旗のマグネットを貼っていく）

そんな国の一つ一つに国旗があります。

次に紹介するのは、そんな国旗の図鑑です。

#### 『世界の国旗クイズ図鑑』

→（表紙を見せる）

→（日本の国旗を見せる）

この国の旗はわかりますね。日本の旗です。日本の旗は、日の丸とも呼ばれています。この赤い丸が太陽です。

ではここで、クイズをします。

次の国旗の内、太陽が描いてあるのはどれでしょう？2個あります。

→（問題の国旗を見せる（ブックエンドを使って立てる）韓国・バングラディッシュ・パオ・ラオス・ニジェール）

答えは2個あります。1人2回手を挙げてくださいね。

①だと思ふ人・・・②だと思ふ人・・・（順に訊く）

正解はバングラディッシュとニジェールでした！

太陽は、世界のどこからでも見えるので、いろんな国の国旗に描かれています。でも、日本の国旗のように赤い丸で描いてあるのはあまりありません。

中には顔がある太陽もあります。

→（国旗に描かれた太陽の絵を見せる）

この太陽が描いてあるのはどの国の旗か、この本に載っているなので、気になったら確かめてみてくださいね。

さていろんな太陽の国旗が出てきましたが、世界には太陽が沈まない国とよばれた国があります。それはイギリス。(地図を示しながら) こんな小さな国ですが、世界の各地に領地を持っていたので、いつも領地のどこかで太陽を見ることができたのです。そんなイギリスには、こんな昔話があります。

『わたしゃほんとにうんがいい』

→ (途中まで読む)

さて、このあとおばあさんが家に帰るころ引っ張っていたものはどうなったのでしょうか？続きはこの本を読んでみてくださいね。

おばあさんが引っ張っていたものが最初は金貨だったのに知らないうちに次々にいろんなものになっていきましたね。石になったところまで読みましたが、石って手で表すとどんな形でしょう？

そうグーですね。ではこれは？(チョキをだす) そうはさみ。これは(パーをだす) 紙です。この手の形を使ってするのはじゃんけんですね。

ではちょっとやってみましょう。じゃーんけーんぽん！(パーをだす)

僕に勝った人、そうチョキ(はさみ)は紙に勝ち、グー(石)に負ける。グーは、はさみに勝ち紙に負けます。パー(紙)は石に勝ち、はさみに負けます。

そんなじゃんけんは、世界のほかの国でもあるって知っていましたか？

次に紹介するのはそんな、世界のじゃんけんの本です。

『世界のじゃんけん』

→ (表紙をみせる)

ではもう一度やってみます。

じゃーんけーんぽん！(ピュイをだす)

この形知っていますか？これはフランスのじゃんけんで井戸を表すそうです。井戸は石とはさみを沈めるので勝ち。木の葉は井戸をふさぐので井戸に勝つそうです。

三種類の手の形が多いのですが、中には四種類の国もあります。

他にも足でするじゃんけんやじゃんけんの歴史、手話でするじゃんけんも載っているので、この本を読んでいろんなじゃんけんをやってみてくださいね。

さてみなさんはどんなときにじゃんけんをしますか？

ぼくが、小学校のときは給食のあまりをもらう人を決めるのによくじゃんけんをしていました。負けてしまったら、勝った人のゼリーがおいしそうで悔しかった思い出があります。

みなさん人のもののほうが良くみえることがありますよね。あっちの方がいいとか、そっちの方が楽そうとか。そんな人の仕事が楽そうに見えて、取り替えてしまったお話があります。ノルウェーのおはなしです。

『あべこべものがたり』

おかみさんの仕事が気に食わなかったフリツルさんは、自分の仕事とおかみさんの仕事を取り替えることになりました。

次の日、朝早くおかみさんは草刈がまを担いで干草を刈りに出かけました。

フリツルさんは、家でこまごまとしたことをします。

さて、どうなったかというと・・・

→ (p52～60を読む)

さて、どうしてこんなことになったのでしょうか？

続きはこの本を開いて確かめてください。

おかみさんがいない間に、牛が宙に浮くことになってしまいました。世界のどこからでも見えるものも宙に浮いています。

それは何でしょう？

そうそれは、宇宙に浮かぶ太陽や月などの星です。

### 『月の満ちかけ絵本』

月は、太ったり痩せたりするのを知っていますか。だいたい30日かけて、月は満ち欠けします。

1日目のお月様はどんな形をしていると思いますか？

→ (p6をひらく)

なんと1日目の月は見えないんです。

そして、2日目の月は二日月、3日目の月は三日月です。どんどん月は満ちていきます。ちょうど半分になった月のことを半月といいますね。

太ってまんまるになったお月様のことを満月といいます。ほぼ15日目のお月様なので、十五夜ともいいますね。一晩中見えるのは、この満月だけです。

さて、この満月には、ウサギがいるといわれています。

月の模様がウサギに見えるというのですが、どうでしょうか？

この本にはそんな、豆知識も載っています。

(月のパネルを見せる。マグネットを貼る。)

日本→ウサギ 東ヨーロッパ→髪長い女性 北ヨーロッパ→本を読むおばあさん

南ヨーロッパ→大きなはさみのカニ アラビア→ライオン ドイツ→薪を担ぐ男)

まだ、習ってない内容で、難しいかもしれませんが、気になった人は挑戦してみてください。いろんな月の呼び方やおはなしが書かれています。

この月はみなさん何色にみえますか？

この写真では、白黒にみえますが、実際にはもっと黄色っぽく見えますよね。

黄色いものって何を思い浮かべますか？

次に紹介するのは、色から世界の国の暮らしが分かる本です。

### 『おとうとは青がすき』

みなさんは、青いものと言えばどんなものを思い浮かべますか？

この本の舞台はアフリカのエチオピア。おなじ色でも日本とは思い浮かぶものが違うようです。

(p4 赤い画用紙で隠しておく) 赤色と言えば何を思い浮かべるかな？ → (p4を読む)

(p5 黄色い画用紙で隠しておく) 黄色と言えば？ → (p5を読む)

ほかにも、緑や黒・ピンクなど身近な色を通して、エチオピアの暮らしがわかる本です。

みんなも自分が何を思い浮かべるか考えながら読んでみて下さいね。

さて、世界にはいろんな国がありましたね。

→（世界地図を指でなぞる）

最後にそんな世界を巡る絵本を紹介したいと思います。

『せんをたどってせかいっしゅう』

→（途中まで読む）

さあ、このあとどんなところをめぐるのか。みんなもせんをたどってみてくださいね。

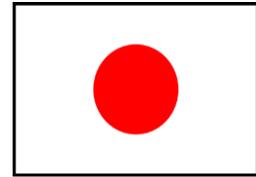
さて、ここまで「世界のくに」というテーマで本を紹介してきました。読んでみたい本はありましたか？

今日紹介した本のリストをお渡ししておきます。気になった本があったら、後でこの中をさがしてみてください。

ありがとうございました。

# ～せかいのくに～

せかい こっき すかん しょうぼう  
『世界の国旗クイズ図鑑』 あかね書房



『わたしゃほんとにうんがいい』

ぶん え しゅっぱん  
せなけいこ 文・絵 すずき出版



たなか ちょ いまじんしゃ  
『世界のじゃんけん』 田中ひろし 著 今人舎

みつよしなつや さいわ だいにほんとしょ  
『あべこべものがたり』 光吉 夏弥 再話 大日本図書

つき み えほん  
『月の満ちかけ絵本』

おおえだしろう ぶん さとう え しょうぼう  
大枝 史郎 文 佐藤 みき 絵 あすなろ書房



あお  
『おとうとは青がすき』

さく しゃしん やくかいせいしゃ  
イフェオマ・オニエフル 作・写真 さくまゆみこ 訳 偕成社

『せんをたどってせかいいっしゅう』

ローラ・ユンクヴィスト さく ふしみみさを やく こうだんしゃ  
講談社



みなさんこんにちは。

近江八幡市立図書館の伊藤です。

今日の〇時間目はブックトークといって、1つのテーマでいろいろな本を紹介します。面白そうだな、とかこれ続きはどうなるの?と思う本があったら、図書館に借りに来てくださいね。

今日のテーマは“たからもの”です。

みんなは「たからもの」をもっていますか。

私のたからものは、これです。何かわかるかな?人の肖像が描かれていますが、これは、『星の王子さま』という有名な本を書いたサンテグジュペリという作家と星の王子さまが描かれた50フラン、日本でいう1000円札のようなお札です。そう、お金です。昔、フランスに旅行に行った時に、『星の王子さま』の本が好きだったので、使わずに大事にとってあります。

今フランスはユーロというお金に替わっているので、手に入れることができません。

今日は、色んなたからものを本で紹介したいと思います。

この『とどろヶ淵のメッケ』の本に出てくる主人公、メッケたち河童にとっていのちと同じくらい大事なたからものは「水」でした。ところがある日、そのたいせつな水がなくなってしまう。

メッケは、竜ヶ滝の水が落ちてくる、とどろヶ淵とよばれるところに住んでいました。

どうしてメッケという名前がついたのかというと、それは、メッケが特別な目をもっていて、どんなに遠くの出来事でも、どんなに小さなものの動きでも、見逃さず、なんでも見ることが出来る千里眼の持ち主だったからです。

毎年、川を上っていった竜神沼では、川じゅうの河童たちが集まってリーダー、頭領を決めるため、大相撲大会が開催されます。

大相撲大会の3日目、メッケが留守番をしていると、滝が流れてこなくなっていることに気が付きます。

水が流れてこなければ、一大事です。メッケは水の底から出て、どうなっているか確かめにいきました。

そして、「山の上のほうで、きっと何か大変なことが起こっているにちがいない」と考え、川の上流を目指して出発します。

木々の間を歩いていた時、ポキパキと枝の折れる音がきこえ、目の前に大きなメスの大イノシシが現れました。大イノシシは迷子になったこどもを探していましたが、メッケはなんでも見つけることができる特別な目で、大イノシシの大切なイノシシのぼうやを見つけてあげます。

大イノシシは、「あたしの大事な宝物を、とり返してくれたお礼に、もう一つの大切な宝物をあげよう」といって、片手ですっぽりとにぎれるほどの石をくれます。これはただの石で

はなく、イノシシだけが見つけれられる、石の王様の卵でした。  
大イノシシは、「この石は、持ち主を3回助けてくれる」といって、林のおくに消えていきます。

そのうちに、強い陽ざしが照り付け、メッケの体は、すっかりかわいてきます。  
メッケの力の源である頭のお皿の水もなくなってきました。  
メッケは、水のない川底で力がなくなってバタリと倒れこんでしまいますが、イノシシからもらった石の王様の卵をそっとかざして「石、石。どうか、ぼくを助けて」とつぶやくと石が雨を降らし、助けてくれます。

夜のうちから休みなく歩き続けていたメッケは、藤淵で、ソッカという名前の河童に出会います。  
ソッカは、メッケに昔から先祖代々に言い伝えや記録が書かれた巻物を見せ、今から321年前の7月に竜神沼の底が抜け、滝が止まった時、河童の頭領が、水をとりもどし、川の流れが戻ったと書いてあると教えてくれます。けれども、どうやって水を取り戻したのかということは書いてありませんでした。

メッケとソッカは、どうしたら、水を取り戻すことができるのか、謎の答えを見つけるために、一緒に竜神沼を目指すことになりました。  
二人はやがて、やせっぽちとふとっちょのヨイショとコラショに出会います。  
この二人も加わって、一緒に竜神沼を目指していたところ、うす暗がりの中から黒い影が現れ、4人を追いかけて、メッケの肩をつかまえました。

その場面を読んでみます。(p114、1行目から後ろから4行目まで)

メッケは、石の王様の卵をにぎり、必死に助けを求めます。実は、この影、321年前の昔の出来事と関係していたのです。この影の正体がわかったとき、全ての謎が解けることになるのですが、この先、メッケたちがどうなるのか、続きは読んで確かめてください。

水は河童だけでなく、人間や生き物に欠かせないからものです。水がないと生きていくことができません。私たちが使う水道水はどこからきているか知っていますか？そう、琵琶湖ですよ。その琵琶湖のほとりで水とともに暮らしているおじいちゃんのお話です。

おじいちゃんの名前は田中三五郎さんといいます。三五郎さんは、琵琶湖にそそぎこむ川のほとりで、もう60年以上も漁をしています。  
三五郎さんが漁をする場所は川はばがひろくなっている河口です。いりくんだところには、ヨシが生えて、ヤナギもしげっています。  
一番たくさん捕れる魚は何だと思う？  
次の3つのうちのどれか手をあげてね。  
1番、なまず、2番コイ、3番フナ  
正解は、2番のコイです。  
その次がフナ、そしてなまずです。

これは、フサモという藻を掃除しているところです。フサモは、水面に浮いていますが、どんどんと水面をおおいつくしていき、川の底がぐらくなって魚たちが寄りつかなくなるからです。藻が少なくなれば、水鳥たちも自由に泳いでエサをとることができるし、ゴミがたまったりしない美しい水の流れがいつまでもつづくことになり、美しい風景をつくることにもつながっていきます。

ヨシを焼いています。どうしてヨシを焼いているのか、その理由は、本に書いてありますので、読んでみてください。

他にも、三五郎さんが魚をとる大きな網も紹介されています。琵琶湖とともに暮らす三五郎さんの生活をこの本でのぞいてみてください。

大切な琵琶湖。琵琶湖は他のなにかとどっちが大事ななんて比べることができない私たちのたからものですが、

この『たからものくらべ』の本の中では、6歳のともこと4歳のたかしの姉弟が大きな箱を持ってきて、たからものの比べっこをします。どんなたからものをもっているか見てみましょう。

(p6、p16、p29 紹介)

(「お母さんに捨てられちゃったたからものたち」を紹介)

みんなも心当たりのあるものがきっとあったんじゃないかな。  
もしも、大事なたからものがなくなってしまったら、どうする？

「大好きなTシャツ」をなくしてしまい、Tシャツを探しに旅に出た男の子がいました。

今から新聞紙を使ったお話をします。

あるところに、男の子が住んでいました。ある日、男の子は、大好きなTシャツを洗濯して、干しました。

すると突然凄い風が吹いてきて、大好きなTシャツは空に吸い込まれるようにどこかにとんで行ってしまいました。

困った男の子は、帽子をかぶり、大事なTシャツを見つける旅に出ることにしました。

まず男の子は、山を探しにいきました。「いっちに、いっちに。ぼくのTシャツでておいで〜。いっちに、いっちに。」

けれども、山では見つからなかったので、男の子は船にのって、海を探すことにしました。

ところが、空が急に暗くなったかと思うと、激しい風と雨が船をおそいました。男の子の船は、傷つき、帆は折れてしまい、ボロボロになった船は海のもくずとなって沈んでしまいました。男の子は見知らぬ島に流れつき、浜辺で気が付きました。「ここはどこだろう」見ると、そばに何かが落ちています。

「あれ、これは、ひょっとして・・・」「ぼくのTシャツだ！」

こうして男の子は、無事にTシャツを見つけることが出来ました。おしまい。  
今のおはなしは、Youtube に載っています。本で読みたい人は少し難しいけれど、この本の中の「火事」という新聞紙を使ったおはなしを参考にしてみてください。

男の子は、流れ着いた島で自分の大事なたからもののTシャツを見つけました。人が住まない無人島では、たからものが見つかることもあります。

『くろグミ団は名探偵』に出てくる探偵グループのフィリップとカーローとフローの3人は、お城の屋根裏部屋で古い3枚の紙を見つけます。

見つけた3枚の紙をつなぎあわせてみると、なにやら、島の輪郭のようにみえました。3人は地図で似たかたちの島を探してみました。

その島は、グロツェンズント島という無人島でした。

つなぎあわせた、地図の中の2本の点線が交差する×が、何かがあるに違いない！と思った3人は、まずは、この地図を作った人物の手がかりとして、余白に書かれているイニシャル（頭文字）の“CM”が何を示すのか、海を航海する船などについて展示されている海上交通博物館に行ってみることにします。

博物館の暗い地下のフロアには、古い船の模型や船の首に飾られていた胸像がたくさんならべられていました。

実は、この本の全見開きのページには、左のページに文章が、そして右のページには絵が描かれているのですが、左のページの最後に問題が書いてあります。

その問題の部分を読んでみます。

（p62～63 読む）

この問題を解かないと、次のページへと進めないのですが、その謎をとくカギは、絵の中にかくされているので、絵をよく見ると、答えが分かります。

実は、このイニシャルの持ち主は、海賊だったのです。

みんなも、クログミ団の仲間たちと一緒に謎を一つひとつ解きながら、海賊がかくしたたからものを見つけ出してください。

この本は、1冊に4つのお話が入っていますので、面白そうだな、と思うお話から読んでも大丈夫です。

海賊は、金や銀、そして宝石などのお宝をいっぱい残していますが、宝石のように、金色や虹色に輝く、たからものような生き物がいるのを知っていますか。

『よくみてみよう 虫は宝石』

この本には、虫ということをおぼえてしまうほど、美しい色や模様の虫がたくさんのおいてあります。

（扉、p10、p19、p23 紹介）

カメムシは、敵に見つかったら、臭いにおいを出して追い払います。

みんなの身近にいる小さな虫でも、よ〜くみると、宝石のような虫が見つかるかもしれません。

遠い北の国の宮殿のかべには何やら不思議なたからものがずらりとならんでいました。

『つばさをもらったライオン』

みんなも本でたくさんたからものをみつけてほしいなと思っています。

これで今日のブックトークはおしまい。

平成31年（令和元年）度 小学4年生ブックトーク プログラム

# たからもの

1. 『とどろけ淵<sup>ふち</sup>のメッケ』 富安陽子／作（校成出版社）
2. 『おじいちゃんは水のにおいがした』 今森光彦／著（偕成社）
3. 『たからものくらべ』 杉山 亮／作（福音館書店）
4. 「ぼくのTシャツを探して」＊『おはなしおばさんの小道具』（一声社）
5. 『くろグミ団は名探偵 消えた楽譜』 ユリアン・プレス／作・絵（岩波書店）
6. 『ムシとあそぼう海野和男のムシシシシ⑤よくみてみよう虫は宝石』  
海野和男／写真・文（新日本出版社）
7. 『つばさをもらったライオン』 クリス・コノヴァー／作（ほるぷ出版）

担当：伊藤



みなさん、こんにちは。滋賀県立図書館から、ブック・トークに来ました、林といいます。みんなはブック・トークって知ってますか？ブック・トークは、とっても簡単に言うと「本の紹介」ということで、ひとつのテーマにそって、何冊かの本の紹介をすることを言います。今日は、「うそ・ウソ大研究」というテーマで、いろんな「ウソ」や「ホント」の本を紹介しますね。

さて、みんなの中に、生まれてから今まで、一度もウソについて怒られたことがないって人はいますか？…いないよね。一度ついてしまったウソがばれないように、次のウソをつかないといけなくなったりしたことはありますか？今ついたウソ、ホントになるといいのになあ、と思ったことはあるかな？

ノリコは、ひろった千円を交番に届けませんでした。いつもなら、ぜったいにそんなことはしないんですけど、その時は、どうしてもマンガ『ガラスの白鳥』が欲しかったんです。おこづかいが足りなかったノリコは、ひろったお金でマンガを買ってしまいました。ノリコの母さんはノリコの頬をぶちました。「万引きしてたのね！」「万引きしてないもん」…（P12～18 とぼしながら読む）。さあ、ノリコはどう返事したのかな？そして、この妖怪二枚舌とは、何をたくらんでいるのでしょうか。続きは読んでみてください。

この『二枚舌』は『心妖怪シリーズ』の1冊です。このシリーズは全部で5冊。1冊に3つの短いお話が入っています。どれも人の心の中にひそむ妖怪が出てくるふしぎでちょっぴり怖いお話です。

さて、妖怪二枚舌はウソをホントにできるって言ったけど、ホントがウソになっちゃうことってあるのかな？次に紹介する本は『よく考えて！ 説明のトリック 情報・ニセ科学』、『ウソ？ホント？トリックを見やぶれ』というシリーズの3巻目です。いろんなトリックが載ってるんだけど、今日は「ふしぎなアンケート調査」というページを紹介します（p38の事例を紹介）。

あれ？これは、同じアンケートの結果を報道したんだよね？なんだか正反対の結果に見えるんだけど…でも、どちらもウソをついている訳ではないんです（アンケートの質問と回答の結果を説明）。この「どちらとも言えない」、確かに「賛成」では無いです。でも「賛成ではない」って反対してるみたいだね。「どちらとも言えない」を選んだ人には、ダンスコンテストに全然興味ない人、賛成の意見も反対の意見もどちらも分かるところがあって選べない、って人、騒音対策さえちゃんとしてくれたら賛成だけど、今の計画なら反対、って人、いろんな意見があるはず。だから、この「どちらとも言えない」を反対のように見せるのはウソじゃないの？って思うんだけど、でも「反対57%」って言った訳ではないので「ウソをついた」とは言えないんだよね。なんだかモヤモヤします。

この『よく考えて！ 説明のトリック』には、ほかにも「血液型で性格がわかるの？」とか「水はことばがわかるの？」とか色んな面白い例が載っています。見てみてください。

さて、ウソをついてなくても、なんだかウソをつかれたような、さっきの新聞。これ、「だまされた」気がするから気持ちが悪くないのかも…。ウソって人をだますから良くないんだよね、きっと。うん、だますのって良くないこと…かな？

実はね、私はほんのちょっとだけ先のことが予言できるんですよ。いやいや、ウソと違います。証明するから、一人手伝ってくれるかな？（『ふしぎ おもしろ てじなっこ』より手品する）。すごいでしょ、おばちゃんは〇〇君がどちらを選ぶか最初から分ってたんだ

よね～…というのはもちろんウソ。もちろんこれは手品です。どうして分ったのかは、この『ふしぎ おもしろ てじなっこ』っていう本に載ってます。手品って、「タネもしかけもありません」って言うけど、それはウソだよ。でも楽しいウソだし、こんなウソならだまされるのも大歓迎。この『だまっしこ』シリーズにはそういう楽しい「だましかた」、身の回りのものでできる手品がいっぱい載ってます。ぜひ遊んでみてね。

さて、ここで考えてほしいんだけど、ウソをつくのは人間だけ？ 動物や植物は言葉を話さないから、ウソはつかない、かな？ じゃあ、さっきの本みたいに「だます」ことならどうでしょう。ヒト以外の生き物は、他の生き物のことをだましたりすると思う？ 実は、みんなもだまされてるかもしれないんだよ。ちょっとこの写真を見てみてください…（『さがそう！ まねする虫』p12）これは何か。…ハチ？ でも、ここを見て。「ハチのふりしてる虫なんびき？」って書いてあるね。実は、この48匹の中には、ハチのふりをしたガやハエやアブが16種類も隠れてます。ハチのふりをすれば、毒があると思われるから、安全なんだ。みんなもだまされてるかもね。じゃあ、この中に虫は何匹かくれてるかな？（『虫のかくれんぼ』からクイズ）この虫は日本にいないのが残念だけど、このカレハガや○○なんかは、日本にいる虫だよ。この虫たちは、どうして樹や葉っぱのふりをしてるのかな。そう、自分たちを食べる鳥や動物から身を守るためだね。「ここには虫なんかいませんよ～、葉っぱしかありません」ってウソをついて、まわりの自然とうまく一緒になって、見つからないようにしているんだね。

さて、今紹介した虫みたいなことって、みんなもしたことないかな？ みんなは、天敵にみつかって食べられちゃう、なんてことはないかもしれないけど、まわりの友達から変な子と思われるかな、とか、目だっていじめられないかな、と思って、みんなと同じように、目立たないように、一緒にフリをしたことが、あるんじゃないかな？ 次の絵本『ストライプ たいへん！ しましまになっちゃった』のこの子、カミラもそんな女の子でした。（最初からとぼしとぼし読む）さあ、カミラは元に戻れるのかな？

友達と違ったことをして変な子、って思われるのがイヤなもの、自分の好きなものは好きって言いたいのも、どっちも本当の気持ちだよ。本当の気持ちって、自分でも良くわからなかったするよね。ウソをつく方が簡単で楽だな、って思ってしまった事はありませんか。

次に紹介する『ハッピーノート』の主人公聡子も、そんな女の子です。

聡子は6年生。4年生の時に自分で中学受験をする、って決めて塾に通っています。受験をする事にしたのは、今の友達と離れたかったから。その時一緒にのクラスだった友達は、なんでもその子が言う通りにしないと機嫌が悪くなる子でした。休み時間の過ごし方はこう、あの子とは遊んじゃダメ、休みの日は私の試合を応援しに来て、だとか…。聡子は本当はその子がイヤだったんだけど、そう言えなくて、その子の言う通りにしていました。中学受験すれば、その子と同じクラスになる事はない、そう思って塾に通うことにしたんです。

5年生になって、聡子には仲良しが3人出来ました（P25～から説明）。聡子はのり子の世話焼きにはウンザリしているんだけど、前と同じで行きたくもない誕生会でも「すごい楽しみい！」なんて言ってしまいます。そんな聡子にも最近楽しいことがあります。ずっと塾で気になっていた男の子、霧島くんと、塾帰りにミスタードーナツで一緒に復習できるようになったんです。毎日復習のための交換ノートもしてくれる霧島くん、でも塾で会った時には挨拶すらしてくれません。「どうして塾では話しかけてくれないの？」本当はそう聞きたい聡子だけど、やっぱり聞けない…。聡子は誰かに自分の本当の気持ちを伝えることは出来るのかな？ 霧島君とはどうなっちゃうんだろう、それから、聡子には見えていなかった色々な人の色々な「本当」が見えてくる『ハッピーノート』、ぜひ読んでみてください。

さて、次のお話『カメキチの泣くな！王子様』に出てくる池野かめきち君は、つきたくないのにウソをつかなきゃいけなくなっちゃったんです。人をだまそうとも思ってないし、自分を守るためどころか、自分が困ったことになっちゃうんだけど、ホントのことが言えないんです。事件は、ある朝始まりました…（冒頭から少し読む）。

トロフィーがなくなったことも大変だけど、実はそれだけでみんな大騒ぎしてるんじゃないんだ。このトロフィーはね、もしこわれたりするとクラスに悪いことが起こる、というウワサのトロフィーなんだ。先生は、「そんなもん、ウワサや！ 信じるな」って言うけど、でも、10年前に、このトロフィーを壊した男の子が交通事故にあったのはホントらしい。それで、みんな心配してるんです。

ところが、この日の晩には、このトロフィー、かめきち君の机の下にありました。ううん、かめきち君が盗ったんじゃないよ。実は、これはある人が訳あって持って帰っていたものなんだ。かめきち君は、この人に呼ばれて、トロフィーをみんなに分からないように、こっそり返しておいてほしい、って頼まれたの。実は、トロフィーが消えたのには、クラスのみんなを思った深〜い訳があったんです。でもそれは、その人とかめきち君2人だけの秘密。みんなには秘密ねって約束したんです。

ところが！ 机の下に隠してあったトロフィーを、親友のしんごにみつかってしまって…（「ほんとうのことを言ったらわかってくれるかも…でもやくそくが」のあたりを読む）。さあ、かめきちはどうなるのかな？ 大事な友達に本当のことを言って仲直りしたい！ でも、約束もやぶりたくない…がんばれかめきち！

このかめきち君のおはなしも、全部で3冊のシリーズになってます。3年生のおはなしなんて子どもっぽいと思うかもしれないけど、大人の私が読んでもホントに楽しいので、このおはなしが気に入った人は、他のおはなしも読んでみてね。

今日はいろんな「ウソ」の本を紹介してきました。最後は詩をひとつ読んで終わりにしたいと思います。

みんな、谷川俊太郎さん、って知ってるかな？ 最後に紹介するのは、谷川さんの詩で「うそ」です。聞いてください（「うそ」読む）。

この詩は『はだか』っていう谷川さんの詩集に載っています。この詩集は、ぜんぶ「こどものことば」で書かれています。ほら、ひらがなばかりでしょう。「こどものことば」なんだけど、今の詩みたいに、わかるような、難しいような、良くわからなくても心に残るような詩がたくさん載っているので、読んでみてください。

はい、今日は「うそ？ ウソ！ 大研究」というテーマで本を紹介しました。今日紹介した本は、しばらく先生にお預けして帰ります。ゆっくり読みたい時は図書館にあるから、ぜひ借りにきてね。それまで、本の名前とか覚えてられへん？ 今日紹介した本を書いた、このプログラムを先生に渡しますので、後で貰って下さい。長い間聞いてくれてありがとう。これで、今日のブックトークを終わります。

2019年12月4日(水)

草津市立草津小学校 5年生 ブックトーク

滋賀県立図書館

# うそ？ ウソ！ 大研究

物語 『二枚舌』<sup>まい</sup> 心妖怪シリーズ5 <sup>うちだりんたろう</sup> 内田麟太郎 // 作 ささめやゆき // 絵 佼成出版社

科学 『よく考えて！ 説明のトリック』<sup>いちむらひとし</sup> 市村均 文 <sup>そぎまこと</sup> 曾木誠 監修 岩崎書店

絵本 『ふしぎ？おもしろ てじなっこ』

<sup>さえぎとしお</sup> 佐伯俊男 さく 福音館書店 (かがくのとも2001年12月号)  
『だましっこ』『てじなで だましっこ』などほかにも『だましっこ』の本がたくさんあるよ。

科学 『虫のかくれんぼ』<sup>うんのかずお</sup> 海野和男 さく 福音館書店

『海野和男のさがしてムシハカセ 3 さがそう！ まねする虫』<sup>うんのかずお</sup> 海野和男 著 偕成社

絵本 『ストライプ たいへん! しまもようになっちゃった』

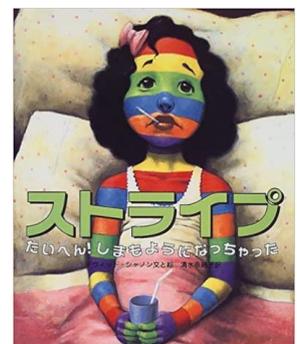
デヴィッド・シャノン // 文と絵 <sup>しみすなおこ</sup> 清水奈緒子 // 訳 セーラー出版

物語 『ハッピー・ノート』<sup>くさの</sup> 草野たき 作 ともこエヴァーソン 画 福音館書店

物語 『かめきちのなくな! 王子様』村上しいこ // 作 <sup>はせがわよしゆみ</sup> 長谷川義史 // 絵 岩崎書店

詩 「うそ」 『はだか』<sup>たにかわしゅんたろう</sup> 谷川俊太郎詩集』より

<sup>たにかわしゅんたろう</sup> 谷川俊太郎 著 <sup>さのようこ</sup> 佐野洋子 絵 筑摩書房



\*ここでしょうかいした本は、<sup>ぜんぶとしよかん</sup> 全部図書館にありますので、かりにきてね。もしみつからないときは、<sup>かしたしちゆう</sup> 図書館の人に聞いてくださいね。貸出中のときは「よやく」もできます。

## 原稿④「ことばで伝える」(日野町立図書館 上林貞志)

対象：中学校2年生 所要時間：約45分

みなさんこんにちは。学校図書館司書の上林です。いつも図書館をたくさんつかって来て、ありがとうございます。

今日はブックトークをしにきました。みなさんはブックトークって聞いたことあるでしょうか？ブックトークとは、一つのテーマに沿っていろいろな本を紹介することです。話を聞いてみて、あの本おもしろそうやな～、と思ったら、ぜひ後でよんでみてください。

今日は「ことばで伝える」というテーマでブックトークをしたいと思います。(黒板に書く)  
言葉はコミュニケーションにとって、なくてはならないものです。言葉がなければ気持ちを伝えられないし、相手の気持ちもわかりません。でも、ただ使えばいいっていうものでもなくて、使い方によっては人を救うこともあるし、凶器にもなるのが言葉です。これから言葉についての本をいろいろ紹介するので、自分たちが使っている言葉について、少し考えてみてもらえればと思います。

さて、今こうしてみなさんと話をして通じるのは、ここにいるみんなが言葉がわかるからですね。ふだん何気なく使っている言葉ですが、では、どうして人間だけが言葉を使えるのか考えてみたことはないですか？犬とか猫ともしゃべれたら楽しいと思いませんか？でも犬も猫もワンとかニャーとしか言ってくれません。

『言葉はなぜ生まれたのか』(表紙見せる)という本があります。

この本によると人間のように言葉を使うには4つの条件が必要だそうです。(p15 見せながら)一つめの条件は発声学習ができること。発声学習とは初めて聞いた言葉をマネすることができるということです。二つめは音と意味が対応していること。たとえば、「ぼうし」という単語は「頭にかぶるもの」という意味とつながっています。三つめは文法があること。文法とは文章をつくる時のルールのことです。四つめは社会関係のなかで使い分けられること。人間は立場によって敬語を使ったりして言葉を使い分けています。この4つの条件をすべて満たせるのは人間だけですが、条件のうち一部だけを持っている動物はいるんです。一つめの条件の発声学習ができること、つまり人間の言葉をマネできる動物がいるんですが、何だかわかりますか？(問いかけ)

鳥の仲間、特にオウムや九官鳥は人間の言葉をマネする能力があります。それとイルカなどのクジラの仲間もマネすることができるそうです。マネができるのは、鳥とクジラの仲間、それと人間だけです。(p24 見せながら)

では、マネができる動物とマネができない動物は何が違うと思いますか？(間)実はマネができる動物は息を止めることができるんです。鳥は高い空を飛ぶとき、クジラは水の中に潜るときに息をとめないといけないので、呼吸をコントロールする機能が発達したのだと考えられます。ちなみに犬とか猫は自分の意思で息を止めることができません。じゃあ逆に考えてみると、どうして人間は空を飛んだり、水の中に潜ったりしないのに、息を止められるようになったのでしょうか？その秘密はこの本の最後のほうで明らかになります。気になる人は読んでみてください。

『言葉はなぜ生まれたのか』でした。(本を置く)

言葉を使える私たち人間ですが、それでも他の人に自分の気持ちを伝えるのはなかなか難しいですよ？それはたぶん大人でも同じです。どうすれば気持ちはうまく伝わるのでしょうか。コミュニ

ケーションで大切なことを教えてくれる絵本があります。

『この気もち伝えたい』です。(表紙見せる)

少し読んでみます。(最初からp23まで読む)

コミュニケーションってキャッチボールと全く同じなんです。大切なのは気持ちを伝えるために相手の受けとりやすいボールを投げることと、ボールをうまくキャッチできるようになることです。キャッチボールそのものを楽しめるようになれば、素晴らしいなと思います。人間関係に悩んでいる人はぜひ続きを読んでみてください。きっと心が楽になると思います。

『この気もち伝えたい』でした。(本を置く)

言葉を直接伝えるのが難しい時は気持ちを短歌にするという方法もありかもしれません。みなさん短歌って知っていますか？(黒板に書く)短歌というのは言葉の音数がぴったり五／七／五／七／七になっている文章です。それ以外の決まりごとはありません。俳句と違って短歌には季語もありません。その短歌をテーマにした物語があります。

『うたうとは小さいのちひろいあげ』(表紙見せる)

どんな物語かというと、主人公は高校1年生の桃子です。桃子はひよんなことからうた部に入部しました。うた部は短歌を詠む部活です。部員は桃子も入れてたった4人でした。桃子は高校の3年間、友達を作らないと決めていましたが、うた部の先輩は楽しい人ばかりでだんだんと打ち解けていきます。それと、もう一人重要な登場人物がいます。桃子の親友の綾美です。綾美は桃子と同じ高校に入学しましたが、すぐに不登校になってしまいました。中学のときのある事件が原因なのですが、綾美は引きこもってしまって、やりきれない気持ちをネットのブログにぶつけていました。桃子は綾美が不登校になった責任が自分にもあると思って、毎日学校帰りに綾美の家に寄っていましたが、このままでいいのか悩んでいました。綾美にも桃子を憎む気持ちがあって、ふたりの関係はぎくしゃくしていましたが、うた部の先輩たちと短歌を詠む中でしだいに気持ちの整理をつけていきます。

で、この先輩たちがほんとに個性的でキャラが濃いんですが、すごくいい短歌を詠むんです。たとえばこんな短歌が出てきます。(附箋部分詠む)タイトルの「うたうとは小さいのちひろいあげ」はラストシーンで桃子が詠んだ上の句です。これに対して綾子が下の句を詠むんですが、そこが最高にかっこいいんです。言葉の力を感じられます。さあ、どんな短歌になったのでしょうか。読んでみてください。(本を置く)

ちなみに三部作となっていて、続編は『空はいまぼくらふたりを中心に』と『青春は燃えるゴミではありません』となっています。ぜひ合わせてどうぞ。(表紙を見せて置く)

日本には昔から短歌や俳句のように短い文章で気持ちを伝える文化があります。ツイッターとかインスタグラムといったSNSをしている人もなかにはいるかもしれませんが、今の時代でもいかに短い文章で自分を表現するかが大事になってきていると思います。そんなSNSから生まれたのが、

『54字の物語』です。(表紙見せる)

ひとつのお話が54文字ピッタリで終わります。いくつか読んでみるので、どんなお話しなのか想像してみてください。(表紙と付箋部分を読む)

本の最後には54文字の原稿用紙がついています。みなさんも物語を作ってみてはいかがでしょう？

『54字の物語』でした。(本を置く)

物語を作ったことある人は、あんまりいないかもしれませんが、文章を考える機会はよくあると思います。みなさんは文章を考えると、使う言葉に迷ったことはないですか？日本語には同じ読みでも違う意味の言葉があります。たとえば「足」と「脚」。(黒板に書く)この違いが分かる人はいますか？(問いかけ)

似ている言葉や物を分かりやすく説明してくれる本があります。

『似ていることば』です。(表紙見せる)

この本を見てみると、(p20・21)写真が載っていますが、なんとなくわかったでしょうか？次のページに解説が載っています。足首から下が「足」で、太ももから下が「脚」だそうです。

ではもう一問。「羽」と「羽根」の違いはなんでしょう？(黒板に書いて問いかけ)

(p136・137)鳥の体についているのが「羽」、鳥の体から離れているのが「羽根」です。違いが分かりましたか？

ちなみにみなさんこれは何と呼びますか？(シャベルを出す)この本によると、関東では大きいのがスコップでこの小さいのがシャベル。関西では大きいのがシャベルでこの小さいのをスコップと呼ぶ人が多いみたいです。ややこしいですね。

『似ていることば』でした。(本を置く)

さて、関東と関西の話がでてきましたが、みなさんは自分がどんな言葉、何弁をつかっていると思いますか？(問いかけ)滋賀県の方言は基本的には関西弁に近いと思いますが、滋賀弁というか近江弁ともいえる立派な方言があります。そんな滋賀県の方言を紹介している本がこちらです。

『ええほん 滋賀の方言手控え帖』です。(表紙見せる)

たとえば、こんな方言が載っています。(付箋部分を紹介)

みなさんが普段使ってる言葉で、方言ちゃうかな～って思う言葉はありますか？(あれば調べる)

ところでみなさんは、「平家物語」は習いましたか？(p129「平家物語」を読む)これを滋賀県の方言で言ってみるとこうなります。(方言 Ver.を読む)わかりやすかったですか？

『ええほん 滋賀の方言手控え帖』でした。(本を置く)

方言には、ひと言では説明できない、微妙なニュアンスをもった言葉があります。たとえば関西弁でよく使う「ぼちぼち」って、正直どれくらいかよく分からないですよ？実はそういう説明しにくい言葉は世界にもたくさんあります。それを集めたのがこの本です。

『翻訳できない世界のことば』(表紙見せる)

少し中身を紹介します。(p22、p68、p74、p90を紹介)

『翻訳できない世界のことば』でした。(本を置く)

翻訳できない言葉を紹介しましたが、逆にいろんな訳し方がある言葉もあります。

みなさん、アイラブユーってどういう意味が分かりますか？(問いかけ)

夏目漱石の有名なエピソードがあるんですが、夏目漱石はアイラブユーを「月がきれいですね」と訳したそうです。漱石曰く、日本人は「愛している」なんて言わない「月がきれいですね」と訳しておけば、それで気持ちは伝わるとのことです。だから、これからみなさんも誰かを好きになったり、好きになられたりすることもあると思いますが、もしも「月がきれいですね」と言われたらボーっとしてたらだめですよ。もしかしたら告白されているかもしれません。それはさておき、

『I Love Youの訳し方』という本があります。(表紙を見せる)

この本には100人の作家さんによる100通りのアイラブユーの伝え方がのっています。印象に残ったのがいくつかあるんですが、例えばあの有名なシェイクスピアはこんな風に表現していま

す。(p194 読む) 夏の日にたとえるかと思いきや、やっぱりやめる。でもなんだかロマンチックですよね。みなさんはあまりご存じないかもしれませんが、歌人で劇作家でもあった寺山修二はこう表現しています。(p70 読む) 思い出すっていうことは忘れられてるっていうことなんですよ。忘れてほしくないっていう気持ちが伝わってきます。みなさんだったらアイラブユーをどんな言葉で伝えるでしょうか？

『I Love Youの訳し方』でした(本を置く)

とはいえ、思春期真っ只中のみなさんは、愛のこととか恋のこととか、うまく言葉にできなくて悩んだり、モヤモヤすることもあると思います。

そんな人にオススメなのがこちらの『恋する熱気球』です。(表紙を見せる)

短編集になっていて、ちょっと不思議なお話が5つ載っています。どのお話も主人公は中学生です。表紙がかわいいのでキラキラした恋のお話かと思いきや、全然そんなことないです。どの主人公も悩んだり、妬んだり、モヤモヤしている人ばかりです。男子はちょっと手に取りにくいかもしれませんが、悩んでる男の子の目線で描かれた話もあるので、ぜひ読んでみてほしいと思います。僕のお気に入りには表題作の「恋する熱気球」というお話です。燃えるような恋とか恋の炎という表現を聞いたことがあると思いますが、主人公の女の子は恋の炎によって体が熱くなると、気球のように浮かんでいってしまうという変わったお話です。一体どうなってしまうのでしょうか？他にも惚れっぽい男の子の話とか魔法少女になってしまった女の子の話も楽しかったです。

『恋する熱気球』読んでみてください。(本を置く)

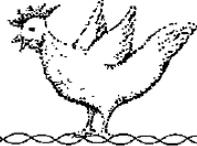
では、最後にみなさんに、なぞなぞを出そうと思います。

『世界のなぞかけ昔話 やっとわかったぞ!』という本から「線」という問題です。よく聞いてみてくださいね。(p6 出題)

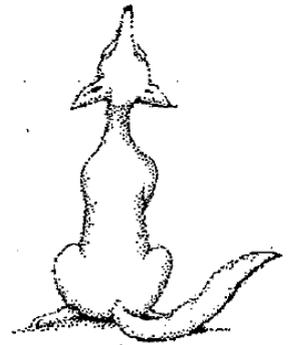
この本の「はじめに」のところにちょっといいことが書いてあったので読んでみます。(「はじめに」を読む)

みなさんにはこれからも人の言葉をよく聞いて、よく考えて、うまく言葉を使っていてもらえればと思います。今日は「ことばで伝える」というテーマでブックトークをしました。紹介した本は図書室で借りてもらえます。気になった本があったら、ぜひ読んでみてください。ありがとうございました。(リスト配る)

# 「ことばで伝える」



1. 『言葉はなぜ生まれたのか』 岡ノ谷一夫／著 石森愛彦／絵 (文藝春秋)
2. 『この気もち伝えたい』 伊藤守／著 (ディスカヴァー・トゥエンティワン)
3. 『うたうとは小さいのちひろいあげ』 村上しいこ／著 (講談社)
4. 『54字の物語』 氏田雄介／作 佐藤おどり／絵 (PHP研究所)
5. 『似ていることば』 おかべたかし／文 やまでたかし／写真 (東京書籍)
6. 『ええほん 滋賀の方言手控え帖』 中山敬一／著 (サンライズ出版)
7. 『翻訳できない世界のことば』  
エラ・フランシス・サンダース／著・イラスト 前田まゆみ／訳 (創元社)
8. 『I Love Youの訳し方』  
望月竜馬／著 ジュリエット・スミス／絵 (雷鳥社)
9. 『恋する熱気球』 梨屋アリエ／著 (講談社)
10. 『やっとわかったぞ！世界のなぞかけ昔話③』  
ジョージ・シャノン／文 ピーター・シス／絵 福本友美子／訳 (晶文社)



イラスト『おっぴろげ〜おどろき』まゆみ

やってみよう！ ブックトーク  
～子どもを本の世界に誘うために～

---

令和3年（2021年）3月発行

編集：ブックトーク実演・ガイドブック編集委員

発行：滋賀県教育委員会事務局生涯学習課

〒520-8577 大津市京町四丁目 1-1

電話 077-528-4652